

## 式 辞

朝の空気が日一日と優しくなり、桜雲臺の草木にも、生命の息吹きみなぎる希望の季節を迎えました。そんな良き日、ご来賓の皆様方のご臨席をたまわり、保護者の皆様をお迎えして、平成 29 年度岩手県立花巻北高等学校の入学式を行えますことは、この上ない喜びであります。厚く御礼を申し上げます。ただいま入学を許可いたしました 245 名の新入生の皆さん、保護者の皆様、入学おめでとうございます。

先ほど私は「桜雲臺」と言いました。この言葉には、「高い理想に燃えて、日々自己の向上に努め、地域郷土に貢献する」という思いが込められています。本校はこの桜雲臺精神と黒橋魂という言葉を掲げ、昭和 6 年の開校以来、今年で約二万人の卒業生を送り出している、県下屈指の歴史と伝統を誇る高校です。

その卒業生は、政治・経済・教育・スポーツ文化等、あらゆる分野で活躍しています。昨年度も素晴らしい進路実績をあげました。また、校門をくぐったところにある十数本に及び全国大会出場の垂れ幕からもわかるように、運動部、文化部とも毎年素晴らしい成果をあげております。

そんな中、花高生になった新入生の皆さんは、希望に胸を燃やしながらも、一抹の不安も抱いているかもしれません。人は、往々にして、過去を悔やみ、未来に不安を抱くものです。でも、私は、今日の良き日に、皆さんには、過去の自分に「お疲れ様、ありがとう」と感謝の言葉をかけて欲しいと思います。

なぜなら、今の自分とは、あなたの小学校・中学校時代を含めこれまでの人生全部によってつくられた、いわば過去からの素晴らしい贈り物だからです。そして、今の自分にとっての過去は、未来の自分にとっての今です。ですから、過去の自分を労うことで、今日の入学式を、自分の未来を輝かしいものに変えていくきっかけにする記念すべき日にして欲しいと思います。

さて、では、果たして、3年後、皆さんはどんな形で高校を巣立っていくのでしょうか。実は私は今年度で定年を迎えます。だから、皆さんの3年後の姿を見ることができません。

残念だなあと思っていたら、びっくりしました。先日、3年後の校長先生から、皆さんの卒業式のときに述べているメッセージをいただいたんです。それはここにあります。そうです、これは、時を超えて未来から届いたメッセージなんです。では、ちょっと読み上げてみますね。

### ■ 未来からの式辞を取り出して読む ■

平成 29 年度の入学生の皆さん、今日は皆さんの卒業の日です。3年前の皆さんは不安な表情の人もたくさんいましたね。中学校と違って、授業進度も速く、家庭学習を計画的にやっていたら、課題や提出物に追いつけられない日々がやってきました。でも、皆さんはそれに飲み込まれませんでした。朝起きる時間、勉強を始める時間、寝る時間の三点固定の生活のリズムを見事に習慣化していくことができましたね。そんな中で、自分が学びたいこと、やりたいことを掴むことができました。

入学時から、はっきりとした進路希望を持って、頑張って勉強した S さん。でも第一希望の大学に合格することができなかったね。部活動に燃えてインターハイ出場を目指した B 君、惜しくも優勝することができなかったね。二人とも、悔しくて泣いたこともあったね。でも、あなたたちは、そこから立ち直った。そして、むしろ夢破れたことから、多くのことを学び、そして自分を強くすることができた。

人間関係で悩んだ T 君。最初は、自分はずされているのではないかと考えたこともあったよね。とつてもつらい思いをしたね。でも、このとき君は心温まるすてきな出会いを経験したね。この学年は、半径 1 m 以内の人を幸せにすることがテーマだった。今、君は悲しみや苦しみに耐えてきた分、他人の胸の痛みを心の底から理解できるやさしい人間になれたんだよ。素晴らしいことだね。

### ■ 未来からの式辞をしまおう ■

未来からのメッセージいかがでしたか。花巻北高校には「チーム花北」という言葉があります。ここにいる新入生全員が、あのWBCの侍ジャパンの様に一つになって、そして、そんな皆さんと、教職員、保護者、先輩や同窓生、地域がチームとして、力を合わせて、前に進んでいく、それが花高スピリット、黒橋魂でもあります。

最後に、皆さんに二つの問を投げかけようと思います。一つは「あなたにとって満足とは何か。」もう一つは「なぜ、人は学ぶか」という問です。

さて、「満足」ってなんでしょう。例えば、ここにいる皆さんは、本校に合格できたとき、きっと満足感で一杯だったと思います。でも、それは一瞬のことですよ。そして、先ほど、未来からのメッセージで登場した、大学入試に向けて頑張り、でも合格ができなかったSさんは、最後にこんな言葉を残しています。「結果には満足できなくても、やってきたことに悔いを残したくない」と。

さあ、満足ってなんなんでしょう。人より成績がよければ満足ですか、人よりお金がいっぱいあれば満足ですか。人より偉ければ満足ですか。でもそんな満足は、自分よりもっと持っている人に出会えば簡単に消し飛んでしまいます。そしてその満足はきっと持続せず、むしろ「もっともっと」という欲望を生み出してしまうものかもしれません。

満足はそんなモノや地位を手にすることで得られるものだけではありません。それよりも、人の優しさに触れること、人に優しくして感謝されること、スポーツで汗を流したあとシャワーを浴びる爽快感、音楽を聴いて心を和ませる、このようなものも「満足」かもしれませんね。

でも、もう一つ、皆さんに知って欲しい「満足」があります。それは「知的好奇心に燃えること」です。例えば数の不思議について考える。素数って無限にあるのだろうか。そもそも「無限」って何だろう。「ある」とはどういうことか。なぜ宗教によって内紛が起きるのか。なぜ差別やいじめがなくなるんだらう。桜雲臺って誰がいつどんな意図で名づけたのだらう。なぜ、マルカンソフトは十段巻きなのに崩れないのか、いやいや。なぜ自分はここにいるか。そして、幸せに生きるとは何か。

人間が他の動物と違うことは、「問いを立てることができる」ということです。人間の行動原理は「自分の周囲を見て状況を把握し、その上で課題や疑問などの問を立て、その解決に向けて行動する」というものではないかと思います。そのような知のサイクル、プロセスの中に自らを置くことがきっと満足の一つのカタチではないかと思えます。

もう一つの問、「なぜ人は学ぶのか」については、時間もありませんので、これは皆さんが高校生活を賭けて考え続けてください。そして、卒業のときまでに自分の答えを見つけて欲しいと思います。私からの大きな宿題としたいと思います。

保護者の皆様。高校時代は、成長と変化が著しい時です。これからも、お子様の努力の様子を、時に温かく見守り、後ろから追い風を送っていただきますようお願いいたします。

新入生は花巻北高の宝、いや、郷土岩手の、いやもっと言うと世界の宝です。私たち教職員一同は、そのような世界の宝である、新入生の皆さんの応援団です。そして、保護者、地域の皆様から、寄せられている大きな期待を真摯に受け止め、一丸となって努力していく所存でございます。

最後に、本日ご列席の皆様重ねて感謝の意を表し、入学生の皆さんが充実した高校生活を送られることを心から期待して、式辞といたします。